

廃棄物処理施設の維持管理状況に関する情報

【平成30年 6月公表分】

1. 処分した産業廃棄物の種類及び数量（平成30年 5月 1日～ 5月31日）

(1) 産業廃棄物の種類別処理量

産業廃棄物の種類	処理量(t)
汚泥	56
廃プラスチック類	8,791
廃アルカリ	0
紙くず	124
木くず	211
繊維くず	135
ゴムくず	0
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	313
廃酸	1
動植物性残渣	47
ばいじん	0
燃え殻	0
鉱さい	0
金属くず	237
感染性廃棄物	1,283
廃PCB	242
合 計	11,440

(2) 焼却炉別処理量

	処理量(t)
産廃A炉	5,943
産廃B炉	6,669
医廃A炉	409
医廃B炉	940
合 計	13,961

(注)
 ・産業廃棄物の種別処理量は、マニフェスト伝票の合計
 ・焼却炉別処理量は、実際の炉別焼却量

2. 燃焼ガス温度・排ガス中の一酸化炭素測定結果（平成30年 5月 1日～ 5月31日）

廃棄物を焼却処理中の連続測定結果です。

(1) 産業廃棄物焼却炉

	産廃A炉	産廃B炉	基準値
A. 燃焼ガス温度(°C) (溶融炉三次室出口)	1,289～1,103	1,252～1,048	1000°C以上 (*)
B. 燃焼ガス温度(°C) (集塵装置入口)	162～159	161～158	200°C以下
F. 一酸化炭素濃度 (ppm) (煙突入口)	35～0	35～0	100ppm以下

(*) 溶融炉三次室出口温度が1000°C以上であれば溶融炉二次室上部温度は1250°C以上となり、溶融温度は1100°C以上となっております。

なお、微量PCB汚染絶縁油の処理時は1100°C以上で燃焼します。

(2) 医療廃棄物焼却炉

	医廃A炉	医廃B炉	基準値
A. 燃焼ガス温度(°C) (燃焼炉内)	1,154～873	1,147～875	850°C以上
B. 燃焼ガス温度(°C) (集塵装置入口)	186～171	200～139	200°C以下
F. 一酸化炭素濃度 (ppm) (煙突入口)	27～0	25～0	100ppm以下

3. 冷却設備及び除去設備に堆積したばいじんの除去を行った日

(1) 産業廃棄物焼却炉

		除去を行った日		備考
		産廃A炉	産廃B炉	
冷却設備	C 廃熱ボイラ	連続	連続	
	D 排ガス減温塔	連続	連続	
排ガス処理設備	E 集じん装置	連続	連続	

(注) ボイラー設備の除じん: スートブロー及び槌打装置により毎日実施する。
 排ガス減温塔の除じん: 水噴霧による冷却で重力落下により毎日実施する。
 ろ過集塵装置の除じん: パルスジェット型除じん装置により毎日実施する。

(2) 医療廃棄物焼却炉

		除去を行った日		備考
		医廃A炉	医廃B炉	
冷却設備	C 廃熱ボイラ	連続		
	D 排ガス減温塔	連続	連続	
排ガス処理設備	E 集じん装置	連続	連続	

(注) ボイラー設備の除じん: スートブローにより毎日実施する。
 排ガス減温塔の除じん: 水噴霧による冷却で重力落下により毎日実施する。
 ろ過集塵装置の除じん: パルスジェット型除じん装置により毎日実施する。

4. 排ガス中のダイオキシン類・PCBの濃度

測定項目	設備	採取日	報告日	測定結果	基準値
G ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³)	産廃A炉	H30.4.2	H30.4.23	0.0000016	0.05
	産廃B炉	H30.4.4	H30.4.23	0.000029	
	医廃A炉	H30.4.6	H30.4.25	0.0026	
	医廃B炉	H30.4.5	H30.4.25	0.010	
G PCB (mg/m ³)	産廃A炉	H30.4.2	H30.4.23	0.0000077	0.01
	産廃B炉	H30.4.4	H30.4.23	0.000022	

(注) 医廃炉のPCB測定は対象外

5. 排ガス中のばい煙濃度

測定項目	設備	採取日	報告日	測定結果	基準値
G 硫黄酸化物 (ppm)	産廃A炉	H30.4.2	H30.4.12	<0.7	10
	産廃B炉	H30.4.4	H30.4.18	<0.7	
	医廃A炉	H30.4.6	H30.4.17	<1.1	
	医廃B炉	H30.4.5	H30.4.18	<1.0	
G 窒素酸化物 (ppm)	産廃A炉	H30.4.2	H30.4.12	16	30
	産廃B炉	H30.4.4	H30.4.18	11	
	医廃A炉	H30.4.6	H30.4.17	10	
	医廃B炉	H30.4.5	H30.4.18	10	
G ばいじん (g/m ³ _N)	産廃A炉	H30.4.2	H30.4.12	<0.001	0.01
	産廃B炉	H30.4.4	H30.4.18	<0.001	
	医廃A炉	H30.4.6	H30.4.17	<0.001	
	医廃B炉	H30.4.5	H30.4.18	<0.001	
G 塩化水素 (ppm)	産廃A炉	H30.4.2	H30.4.12	<0.4	10
	産廃B炉	H30.4.4	H30.4.18	0.6	
	医廃A炉	H30.4.6	H30.4.17	<0.6	
	医廃B炉	H30.4.5	H30.4.18	<0.7	
G 全水銀 (μg/m ³ _N)	産廃A炉	H30.4.2	H30.4.9	1.1	50
	産廃B炉	H30.4.4	H30.4.12	1.1	
	医廃A炉	H30.4.6	H30.4.17	5.4	
	医廃B炉	H30.4.5	H30.4.12	6.8	

(注) 各測定項目(水銀以外)は連続測定を実施しております。

6. 排水中の水質

項目	採取日	報告日	測定結果	基準値
pH	H30.4.4	H30.4.18	7.4	5～9
PCB	H30.4.4	H30.4.18	<0.0005	0.003mg/l以下
ダイオキシン類	-	-	-	10pg-TEQ/l以下
ノルマルヘキサン抽出物	鉱油	-	-	5mg/l以下
	動植物油	-	-	30mg/l以下

(注1)ダイオキシン類の測定頻度:1回/6ヶ月

(注2)pH、PCBの測定頻度:1回/月 ノルマルヘキサン抽出物の測定頻度:1回/6ヶ月

【共通】

該当する項の記載において、「採取日」と「報告日」の定義は以下のとおりです。

- 「採取日」:測定に係る試料をサンプリングした日
- 「報告日」:分析結果の得られた日